

## (2) 横手北スマートインターチェンジの整備効果の検証について

### 【要旨】

東北横断自動車道釜石秋田線（仮称）横手北スマート I C 実施計画書（H26.6 月）における、スマート I C の設置により期待される整備効果項目について、それぞれの視点に基づきヒアリングやデータ収集、アンケート調査等により検証を行った。整備効果の検証結果と今後の整備効果検証について報告するもの。

### ▼整備効果

#### ①供用開始 1 年後の利用状況

- ・横手北スマート I C の 1 日あたりの平均利用交通量は、計画交通量 970 台/日に対し 740 台/日（▲230 台/日）。
- ・横手北スマート I C と前後 I C（横手 I C ・大曲 I C）の 1 日あたりの平均利用交通量合計は、横手北スマート I C 開業前の約 10,700 台/日に対し 9,140 台/日（▲1,560 台/日）。

#### ②高速道路の利便性向上

- ・大森・大雄地域や市北西部からの高速道路へのアクセス性が向上し、地域住民の広域活動の活性化につながっている。
- ・高速バス湯沢秋田線の運行時間が 7 分短縮している。

#### ③地域活性化の支援

- ・横手卸センター内事業所や J A 関連施設で整備効果を実感。農業や産業の活性化につながっている。
- ・各種イベントや運動施設等を利用する方々が利用。地域間交流の促進に寄与している。

#### ④医療支援の強化

- ・大仙市から平鹿総合病院への救急搬送時間が短縮され、救急救命医療に貢献している。

#### ⑤地域災害支援の強化

- ・災害応援自治体から横手市内の洪水避難場所への迅速な救護活動、救援物資輸送が可能となり、地域住民の安全・安心につながった。

### ▼今後の整備効果検証

#### ①横手北スマート I C への流入出実態調査の実施